講義名	英語発音クリニック/発音クリニック					授業形態	
担当教員	濱田　真由美	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 ４時限				
		単位数	2	履修開始年次	２年生	ナンバリング・コード	ENG205

主題と概要

発音は英語技能の中でも最も基礎的、かつ重要で、コミュニケーションのためには欠かすことができないスキルである。しかし一方で、発音は一般に習得が難しいと思われがちでなおざりにされやすい技能でもある。本コースでは(1)英語の発音の基礎的知識を学び、(2)できるだけシンプルに、また効果的に訓練を行い、(3)実際の会話で応用する、ことを目的とする。
授業では“聞”での理解にとどまらず、実際に“身体”を使ってできるだけわかりやすく発音トレーニングが行われる。また、発音ソフトを利用し、録音した自分の発音とネイティブスピーカーの発音と比べることにより、個々の発音だけではなく英語のリズムやイントネーションの上達にも役立てる。
第２外国語の発音習得には定期的なトレーニングが不可欠であり、クラス外での練習（宿題）も毎回かなりの量が課せられるので、真剣に取り組みたい人の受講を望む。

到達目標

1. 発音記号を読むことができるようになる。
2. 英語と日本語の音声システムの違いを理解できるようになる。
3. 日本人にとって難しい音を正確に発音できるようにする。
4. 英語の正しいリズム、ストレス、イントネーションを使うことができるようになる。

提出課題

毎回宿題が出るので、受講希望者は録音機器を用意しておくこと

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

録音課題のフィードバックは毎回、授業の最初に個人的に行う。

評価の基準

1. 授業参加　30%
2. 課題提出　30%
3. 到達度テスト　20%
4. 学期末テスト　20%

履修にあたっての注意・助言他

1. 5回欠席すると自動的に落第となるので注意。
2. 出された課題をしっかりこなすこと。
3. 授業に積極的に参加する姿勢を持つこと。授業中発話しない人はマイナス点の対象となる。
4. 録音課題が毎週出るので、録音機器を準備しておくこと。

教科書

.Clear Speech from the Start Student's Book with Integrated Digital Learning, 2nd ed..	Judy b. Gilbert	Cambridge University Press	2,850	9781108348263

参考図書

その他

必要に応じて授業中に指示します。

授業計画

1 自己紹介,日本語と英語の違い?どうして日本語的な発音になるのか？
2 リスニング＆発音テスト(1)
3 syllable(1) / 母音（1）
4 syllable(2) / 母音（2）
5 word stress / 母音（3）
6 発音記号の読み方 / 子音 （1）
7 written EnglishとspokenEnglishの違い
8 連結する音/ 子音 （2）
9 sentence stress / 子音 （3）
10 音の脱落 / 子音 （4）
11 英語のリズム
12 会話練習 （1）
13 会話練習 （2）
14 リスニング＆発音テスト（2）
15 Review

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

録音課題：１５０分
e-learning ソフトを使った発音練習：６０分
教科書からの課題とプリント課題：30分

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本コースでは、英語でのコミュニケーションを円滑に行うために最低限必要な発音やイントネーション、会話力を習得する。商学、経済、人間社会学部生が各分野において、卒業時に必要とされる知識、スキル、コミュニケーション能力を英語学習を通じて身につけることでグローバル社会に貢献できる力を修得する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

このコースでは個人指導をするので少人数設定にしており抽選となります。あらかじめ受講申し込みを行ってください。英語の発音を真剣に上達したい人には最適な授業となります。